

議案審議



令和5年 第6回定例会

令和5年9月12日～15日

令和5年第6回定例会は9月12日に開会し、人事案件、条例、令和4年度各会計補正予算、令和4年度各会計歳入歳出決算認定、意見書など25議案を審議、原案通り可決して15日に閉会しました。また、一般質問は4名の議員が登壇しました。



令和5年度 各会計補正予算案

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計(第4号)	9,453万円	59億7,278万4千円
介護保険(第1号)	2,567万4千円 (保険事業勘定)	5億1,730万3千円 (保険事業勘定)
国民健康保険(第1号)	739万1千円	7億2,747万6千円
後期高齢者医療(第1号)	8万9千円	8,653万6千円
簡易水道(第2号)	857万円	7,658万7千円
農業集落排水(第3号)	263万7千円	2億1,606万6千円
焼酎(第1号)	1,845万6千円	1億3,538万7千円

- ◆後期高齢者医療(第1号) 前年度繰越金の確定に伴う補正です。
- ◆簡易水道事業(第2号) 前年度繰越金の確定に伴う処理及び水道施設監視システム構築等の補正です。
- ◆農業集落排水事業(第3号) 前年度繰越金の確定に伴う処理及び下水道施設の修繕工事実施のための補正です。
- ◆焼酎事業(第1号)

決算認定

令和4年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算を認定

令和4年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算認定は、議長と監査委員を除く決算審査特別委員会(堀川哲男委員長・岡本英明副委員長)を設置して付託。9月12日、13日、15日の3日間にわたり、予算が目的どおり適正かつ効率的に使われたか、どのような成果があったかなど、慎重に審査を行いました。

決算審査意見報告



篠田恵介代表監査委員より「審査に付された各書類は、法令に準拠して作成され、計数は誤りがなく予算執行も総体として適正に行われている。既存や新たな行政課題に迅速に対応しつつ、社会情勢並びに町民のニーズなども見据えた的確な予算編成と予算執行に努められたい」との審査報告がありました。

人事

清里町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

9月29日付で任期満了となる選挙管理委員及び同補充員の選挙(指名推薦)を行い、当選人が決定しました。

【選挙管理委員会委員】

- 中西安次氏(再任)
 - 高橋俊幸氏(再任)
 - 山崎美智子氏(再任)
 - 千葉 亮氏(新任)
- 【選挙管理委員会補充員】
- 廣島優二氏(新任)
 - 塩澤三奈子氏(再任)
 - 田島祥子氏(新任)
 - 田中一浩氏(再任)
- ※選挙管理委員会委員に欠員が生じた場合の補充員の補充の順序は、記載の順序となります。

◆清里町教育委員会委員の任命 9月30日で任期満了となる教育委員会委員について、居城博明氏(札幌町第3)の再任に同意しました。

条例等

清里町犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪の被害に遭われた方やその家族が再び平穏な日常生活を営むことができるよう支援を図り、犯罪の被害に遭われた方やその家族を支え合う地域社会の形成を目的として条例を制定するものです。

清里町穀類乾燥調製施設設置条例を廃止する条例

当該施設について、清里町農業協同組合へ無償譲渡したことに伴い、施設設置条例を廃止するものです。

◆北海道市町村職員退職手当組合同規約の一部を変更する規約 新たに「後志広域連合」が加入したことに伴う変更です。

報告

◆令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

補正予算

◆一般会計(第4号) 電気・ガス・食料品等の物価高騰対策に係る事業者支援、公共施設の環境整備、地域医療の確保のための支援の他、新型コロナウイルスワクチン接種事業費などの補正です。

主な補正事業

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 730万円
- 物価高騰支援社会福祉法人補助事業 800万円
- 保育事務支援システム導入事業 425万6千円
- 清里町診療所運営支援事業 1千800万円
- 商工振興事業補助事業 1千263万円
- 生涯学習総合センター冷房設備設置事業 1千334万円
- ◆介護保険事業(第1号) 保険給付費見込みによる給付費の増、繰越金の基金への積立て、令和4年度介護給付費等の確定に伴う補正です。
- ◆国民健康保険事業(第1号) 前年度繰越金の確定に伴い、基金への積立ての補正です。

意見書

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

◆肥料・燃油等の生産資材等高騰対策の強化を求める意見書

議員の派遣

11月15日に斜里町で開催される「北網ブロック町議会議員研修会」に、全議員を派遣することに決定しました。

決算審査



等も予算化を検討してほしい。

質問 農地の移動・売買がある

と審議回数も多くなると思うの

で、報酬額の検討を行ってほし

い。また、道外研修に伴う旅費

等も予算化を検討してほしい。

質問 令和4年度の採用実績及

び正職員数は。

答弁 採用は中途採用含めて5

名で、全体の正職員数90名。

質問 本町の規模、事業等から

して、90名が妥当なのか。

答弁 ここ数年は90名前後で推

移しているが、専門職の確保、

新たな行政課題への対応等、さ

らに中长期展望に立った採用・

確保を行っていききたい。

質問 ふるさと特産品PR事業

の処理、委託先、PR方法等、

町の考え方をしっかりと持って

事業を進めるべきでは。

答弁 予算の組み方や総務省の

示すルールも含め、全体として

どういう手法が良いか検討し、

清里スタイルの中で事業に取り

組んでいきたい。

質問 江南総合研修センター運営費

が、地域の負担が増えない、使

いやしい支援をお願いしたい。

答弁 必要な修繕、維持管理を

地域の方と協議をしながら行っ

一般会計歳出

どう使われた73億5,987万8千円

～ 令和4年度決算審議 ～ (決算審査特別委員会)

職員の採用

質問 令和4年度の採用実績及

び正職員数は。

答弁 採用は中途採用含めて5

名で、全体の正職員数90名。

質問 本町の規模、事業等から

して、90名が妥当なのか。

答弁 ここ数年は90名前後で推

移しているが、専門職の確保、

新たな行政課題への対応等、さ

らに中长期展望に立った採用・

確保を行っていききたい。

質問 ふるさと特産品PR事業

の処理、委託先、PR方法等、

町の考え方をしっかりと持って

事業を進めるべきでは。

答弁 予算の組み方や総務省の

示すルールも含め、全体として

どういう手法が良いか検討し、

清里スタイルの中で事業に取り

組んでいきたい。

質問 江南総合研修センター運営費

が、地域の負担が増えない、使

いやしい支援をお願いしたい。

答弁 必要な修繕、維持管理を

地域の方と協議をしながら行っ

ていきたい。

質問 保健福祉総合センター管理

後の整備予定は。

答弁 老健と診療所は概ね完備

されており、保健センターは事

務室、廊下、共有スペースの一

部が未設置の状況。現在、調査

設計中であり、本年度中の補正

予算計上を検討している。

地域貢献型スタートビジネス

質問 当初予算の商工事務費に

計上の広告料をこの事業に充て

たという認識で良いか。

答弁 事業の宣伝に係る経費と

いうことで、当初予算計上の広

告料を流用により執行した。

質問 本委託業務が札幌の業者

に決定した経緯は。

答弁 多種多様な媒体による情

報発信等に優れた技術、実績が

あるということ、随意契約を

農業委員会役員報酬

質問 報酬額が安価と思われる

が、活動日数の実績は。

答弁 昨年度の実績として、利

用調整会議が月1回ないし2

回、正副委員長会議等が3ヶ月

に1回程度、プラス総会等の実

施となっている。

質問 農地の移動・売買がある

と審議回数も多くなると思うの

で、報酬額の検討を行ってほし

い。また、道外研修に伴う旅費

等も予算化を検討してほしい。

ていきたい。



ホームページ更新事業

質問 更新の進捗状況は。

答弁 プロポーザルが終了し業

者が決定。今年度中に更新作業

を行い、来年4月から新ホーム

ページの公開予定で進んでい

る。

質問 街灯管理事業

毎年増設しているのか。

答弁 町民の方から要望のあつ

たものに関し、協議・検討を行

い、令和4年度は6本新設。

質問 星空がきれいに見える設

置方法の検討が必要では。

答弁 安全性の観点から基準の

照度等を確保しつつ、景観にも

配慮できる形を模索したい。

質問 再生エネルギーポテンシャル

調査

質問 どのような調査・業務を

実施したのか。

答弁 本町の地域特性や課題等

の把握・方向性の検討、関係者

へのヒアリングにより、本町に

おける再生エネルギーのポテン

シャル・可能性の調査を行い、

研修会や広報で調査結果の発表

を行った。

質問 本事業の着地点、具体的

な施策展開への考えは。

答弁 ゼロカーボンの取組みは



場、パークゴルフ場ともに約

700名増加している。

質問 観光協会補助事業

観光協会に対する町の考

え方として、現在の事業規模を

みた場合、人員や予算が十分な

ものと考えているか。

答弁 運営費、事業費に加え、

キャンプ場、パークゴルフ場の

管理委託等、予算も増え、併せ

て職員数も増加している。観光

協会の自主的な活動を尊重しつ

つ、共通の地域振興という観点

から、事業の在り方や組織体制

等の今後について、役員の方と

忌憚のない意見交換を行い、方

向性を定めていきたい。

質問 住宅改修等促進事業補助

この事業補助から切り離

し、エアコン設置に特化した事

業の構築はできないか。

質問 保育所会計年度任用職員報酬

当初予算からの減は、会

計年度任用職員を採用できなか

ったことによるものか。

ウンセリングを実施。ストレス

チェックと合わせて実施してお

り、一年中、電話でもオンライン

面談でも相談できる。

質問 日本で最も美しい村推進事業

加盟して7年になるが、

具体的な成果はあったか。

答弁 総会や研修会等への参

加、統一的な清掃活動、特産品

の紹介等の事業展開は行われた

が、全町的な広がりや他町村又

は民間企業との交流・連携まで

には発展していない。現在、共

同による事業や情報発信、職員

交流が必要との動きがあり、本

町も地域振興に結びつける動き

を考えていきたい。

質問 新型コロナウイルスワクチン

コールセンター業務

質問 問合せの実績件数は。

答弁 予約受付と相談窓口合わ

せて301件となっている。

質問 保育所会計年度任用職員報酬

当初予算からの減は、会

計年度任用職員を採用できなか

ったことによるものか。

答弁 この予算はパート職員分

の報酬で、不採用によるもので

はなく、勤務日数の減によるも

のである。

質問 教育支援員配置事業

支援員の配置の状況と活

動内容は。

答弁 教育支援員1名、学

習支援員2名を配置。教育支援

員は、小中学校への学校運

営に関する指導助言で、学習支

援員は、きめ細かな学習指導を

行うために教師の補助的な部分

を担っている。

質問 高校生国際交流研修事業補助

令和4年度は、修学旅行

に対する補助事業か。

答弁 令和3年度の海外派遣研

総括審査

総括審査は、村島委員、岡本委員の2名が行いました。

委員 3温泉施設の令和4年度の運営状況について伺いたい。
町長 コロナ禍以前の収支状況に徐々に回復しつつあるが、燃油や各種資材の高騰、人件費への跳ね返り増等により、経費関係が約10%の増となっている。
委員 パスランドは一昨年、労務管理の法令違反、不適切な経理処理があったが、現在の町の指導監督の状況を伺いたい。また、厳しい経営状況等に対して、札幌地区の地域振興の拠



岡本英明 委員

指定管理施設の管理

町長 前町長の時から同じで、新たな医師の確保と一体的な物件の取得又は取得に係る支援でなければならぬと考えており、地方自治法上も難しく、現時点での取得は困難と考えている。
委員 今議会で、令和3年度に

きよさとクリニック支援

取り決めた運営支援の追加として1千800万の補正を行ったが、来年度以降のクリニックへの支援の考えを伺いたい。
町長 クリニックへ安定的な経営をお願いするとともに、町としても無医地区にすることはできず、安定的な地域医療の確保が責務であり、双方でしっかりと話し合いを進め、今後の方向性を

点であり、道の駅でもある当該施設について、今後何か支援を考えているか。
町長 事業者と業務遂行にあたり、報告、連絡はもちろん、現場打合せを行うなどの指導監督業務を日常化させている。

地域振興の中核的役割を担う施設であり、その役割をしっかりと自覚した中、前向きに事業に取り組んでいただきたいと考えている。その中で、不足したものを全て町が補填するのではなく、経営努力があった上において、何らかの特殊要因や経営努力で補うことの出来ないものについては、双方の協議の中で適正な支援を行っていききたい。

旧学校施設等の利活用

委員 旧光岳小学校、旧緑町小

を伺いたい。
答弁 3年後に製造・販売を開始してから50年の大きな節目を迎える。経済状況や消費者の意識も大きく変わり、さらには一般会計からの恒常的な繰出し、経年劣化の施設改修等の課題もある中、町民の誇りでもある本事業を持続可能な形で展開するにはどうしていくか、町職員はもちろん、町民の皆さんとともに方向性を構築していきたい。赤字だから止めるという発想はなく、大変厳しいが新しい展望を見いだしていきたい。



総括審査

決算審査

ための代替事業である。当該学年の修学旅行に1日プラスして、広島県で原爆等を含めた国際平和教育を実施したもので、ご理解いただきたい。
委員 野球場管理運営事業
質問 長年の課題のダッグアウトの修繕を進めてほしい。
答弁 現在修繕に係る積算を行っており、来年度改修を実施したいと考えている。



村島健二 委員

さくらの滝の整備

委員 無償で提供された土地について、駐車場やトイレ等の整備が実施されていないが、今後どのような計画を持っているか。

町長 さくらの滝へのアクセス道路の改良舗装、駐車場の整地転圧、簡易トイレの設置、案内看板、防護柵設置等に年次的に取り組んでいる。今後も基本的には安全対策と訪れる方の滞在実態に即した管理を行っていききたい。御寄附いただいた関係者の意思は意思として受け止めた中において、何ができるか、引き続き検討していきたい。

一般会計歳入

質問 使用料及び手数料
質問 住宅使用料の収入未済額の件数は。

答弁 町営住宅使用料16件、特定公共賃貸住宅使用料3件、地域優良賃貸住宅使用料1件の合計20件で、令和3年度と比べて全体で4件の減となっている。

特別会計

焼酎醸造事業

質問 焼酎事業を始めてから4年以上の月日が経つが、理事者も変わり、今後の展望、考え方は。

答弁 3年後に製造・販売を開始してから50年の大きな節目を迎える。経済状況や消費者の意識も大きく変わり、さらには一般会計からの恒常的な繰出し、経年劣化の施設改修等の課題もある中、町民の誇りでもある本事業を持続可能な形で展開するにはどうしていくか、町職員はもちろん、町民の皆さんとともに方向性を構築していきたい。赤字だから止めるという発想はなく、大変厳しいが新しい展望を見いだしていきたい。



歯科医師の招致

委員 広川歯科医院が閉院して

かなり経つが、歯科医師確保対策の現在の状況を伺いたい。
町長 北見歯科医師会、北海道歯科医師会、北海道等に要請を行ってきたが、現実的には極めて困難とのことで、招致に至っていない。近隣の歯科医院や町内の歯科医院と連携する中、当面の体制を整えつつ、新たな歯科医師の確保に努力したい。
委員 旧広川歯科医院の物件について、先行取得も含めて町として何か考えはあるか。

を定めていきたい。

高齢者の冬季の除雪支援

委員 本事業は、町長の公約の一つである「町民誰もが安心して生活できるまちづくり」につながるもので、今年度こそ是非実行してほしい。
町長 今年度は、自治会で除排

雪を必要とする高齢者等の把握をしていただき、その費用を町で助成をする取組、そこに業者との連携という形を検討している。将来的には今冬の取組みの反省評価をした中、もっと大きな支援の仕組みやシステム、組織等、よりよい方向性を探っていききたい。

学校は、今後利活用していくのか、それとも取り壊すのか、町長の考えを伺いたい。
町長 地域の方と利活用の懇談を持った経過があるが、現在まで有効な活用策が見いだせていない。今後、文科省の廃校プロジェクト等への登録を検討しているが、現実的には難しいことも認識している。利活用と処分

の両面を想定し、情報収集や関連する取組みを行った上で判断をさせていただきたい。
委員 現在町として、認定こども園や消防庁舎、給食センター等の整備が検討され、また既存公共施設の修繕等、今後多額の財政支出が考えられる。将来に

対して負担を負わせないために、ある程度の時期までに、方向性をしっかりと見定めていく必要があるのではないか。

一般質問

堀川 哲男 議員



議員 町民が先進地に行つて学... 町長 町内、町民の人材をどのよう... 町長 教育委員会を中心に、未就学児期から高齢者までの生涯学習活動を通じて行うとともに、「清里みらい塾事業」として、中長期的な展望に立った若者の人材育成の取組みを新たに... 町長 教育委員会を中心に、未就学児期から高齢者までの生涯学習活動を通じて行うとともに、「清里みらい塾事業」として、中長期的な展望に立った若者の人材育成の取組みを新たに... 町長 教育委員会を中心に、未就学児期から高齢者までの生涯学習活動を通じて行うとともに、「清里みらい塾事業」として、中長期的な展望に立った若者の人材育成の取組みを新たに...

町内の人材育成

人材の育成と確保について

議員 町民が先進地に行つて学... 町長 町内、町民の人材をどのよう... 町長 教育委員会を中心に、未就学児期から高齢者までの生涯学習活動を通じて行うとともに、「清里みらい塾事業」として、中長期的な展望に立った若者の人材育成の取組みを新たに... 町長 教育委員会を中心に、未就学児期から高齢者までの生涯学習活動を通じて行うとともに、「清里みらい塾事業」として、中長期的な展望に立った若者の人材育成の取組みを新たに...

役場職員の採用と育成

議員 まちづくりの要である役場職員... 町長 現状、キャリアアップによる転職、心身の不調、家庭の事情、さらには職場環境等で職員の退職が生じている。職員採用は、社会人経験者、資格職、新卒者の獲得の取組みの継続と、第二新卒（25歳未満）等も加えた形で大学への周知を行っている。職員の育成は、職場内の業務を通じての研修をはじめ、各種研修のプログラムを実施している。今後も、職員各層にわたる資質向上、積極的な

議員 地域おこし協力隊等、町活用... 町外からの人材受け入れ... 町長 地域おこし協力隊等、町活用... 町外からの人材受け入れ... 町長 地域おこし協力隊等、町活用... 町外からの人材受け入れ...

議員 地域おこし協力隊等、町活用... 町外からの人材受け入れ... 町長 地域おこし協力隊等、町活用... 町外からの人材受け入れ... 町長 地域おこし協力隊等、町活用... 町外からの人材受け入れ...

一般質問

河口 高 議員

一般質問は要約しています。清里町議会 YouTube をご覧ください。



地域交通の取組みと今後の考え方について

法定協議会と町民の意見集約

議員 高齢化とともに移動手段の確保に不安を持つ住民が増えている。地域交通の法定協議会が立ち上がったが、今後どのように町民の声を聞いて地域交通を進めていくのか伺いたい。町長 法定協議会は、町民の生活に必要な旅客運送の確保や住民の利便性の向上を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けた協議を行う組織で、町と自治会等の町内の幅広

議員 昨年12月から今年の3月まで実施した実証実験バスの実績結果について、どのように捉えているか。町長 視察研修で新しい知識や情報を得て、地域に還元する取組は、今後重要になると認識している。現在、産業、福祉団体等との懇談会を進めており、意見を聴く中、支援も含めて検討したい。まちづくり団体の支援は、各団体の活動に向き合い、支援の必要なものはしっかりと支援を継続的に行う。

実証実験バス運行の分析

将来の交通体系の考え方

町長 清里町と小清水町間は、平日往復3便合計80日間の運行で26名（実人数14名）、緑町と清里市街地間は、毎週火曜日往復2便合計15日間で42名（実人数4名）の結果となっている。総合的な評価としては、残念ながら利用者が極めて少なく、実証実験としての多くの成果は見られなかったと認識している。議員 実証実験については、さまざまな意見を聞かず、いろいろな施策を実施せず行った当然の結果とされている。これは反対に、実証実験の運行ではだめだという裏返しだということなので、しっかりと様々な意見を聞いて進んでほしい。

議員 高齢者は、本町の公共交通機関はJRのための、通院に対する交通手段が大きな心配ごとで、免許を返納していいのかどうか判断に困っている。現在、ハイヤー利用助成制度を実施しているが、人口減少の中で、主体的なまちづくりにもつながり、町の社会資本整備ともいえる将来の交通体系をどう構築するか、町長の考えを伺いたい。町長 法定協議会では全体的な



将来の事業の方向性を構築し、一方で目の前にある課題を一つずつ解消していかねばならない。本町では医療機関への交通手段の確保が最優先であると考えており、新たな視点での町内の交通事業者はもろろん、福祉有償運送のノウハウを持つ社会福祉法人、運送業者や建設業者等によるまちづくりを担う協働組合組織についても、検討・研究を進めている。また、JR釧網本線の存続に向けた対応、都市間バスの町市街地中心部への乗り入れも、既にバス運行会社に検討を依頼している。議員 私としては、デマンド型乗合タクシーの構築が将来的には必要と考えているが、町長の考えは。町長 一つの選択肢として検討するが、基本的には町民が必要とする地域交通を確立していくという考え方に立って、地域交通施策に取り組んでいきたい。

一般質問

柏木 繁延 議員



町長 地域振興への思いであるが、人口減少や超高齢化の中にあって、「しっかりと町民の日々の生活の安心・安全を確保すること」、「生活を支える基盤の地域経済の振興、雇用を確保・創出すること」、「人と未来への

町民全体が共有できるビジョン

地域振興の考え方について

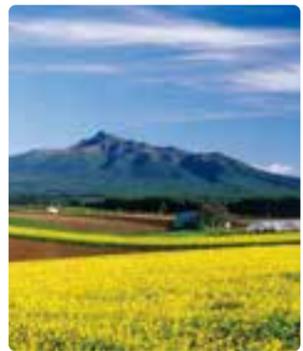
議員 斜里岳、裏摩周、神の子池などの自然資源、じゃがいも焼酎や地場産食材の加工品等の食資源、充実した子育て・学び

地域資源を有効活用した地域活性化策

町長 「施設の早期整備」、「職員の育成」、「子育てサポートシステムの継続・充実」等の意見があり、「今後、認定こども園の整備を推進するとともに、一般的な子ども・子育て環境の充実を図る」と回答した。

町長 「施設の早期整備」、「職員の育成」、「子育てサポートシステムの継続・充実」等の意見があり、「今後、認定こども園の整備を推進するとともに、一般的な子ども・子育て環境の充実を図る」と回答した。

議員 少子高齢化、人口減少をスローダウンさせるには、子育て支援が大切。8月末に認定子ども園に係る懇談会が開催されたが、どんな要望があり、どう応えていくとしたのか。



町長 自然を活かした観光施策は、国立・国定公園や道立公園に囲まれた立地条件を活かし、資源の磨き上げはもちろん、近隣自治体や環境省等の国の機関、さらには民間との連携も視野に入れ、広域での事業推進や情報発信が必要と考えている。

議員 斜里岳、裏摩周、神の子池などの自然資源、じゃがいも焼酎や地場産食材の加工品等の食資源、充実した子育て・学び

町長 自然を活かした観光施策は、国立・国定公園や道立公園に囲まれた立地条件を活かし、資源の磨き上げはもちろん、近隣自治体や環境省等の国の機関、さらには民間との連携も視野に入れ、広域での事業推進や情報発信が必要と考えている。

議員 斜里岳、裏摩周、神の子池などの自然資源、じゃがいも焼酎や地場産食材の加工品等の食資源、充実した子育て・学び

町長 自然を活かした観光施策は、国立・国定公園や道立公園に囲まれた立地条件を活かし、資源の磨き上げはもちろん、近隣自治体や環境省等の国の機関、さらには民間との連携も視野に入れ、広域での事業推進や情報発信が必要と考えている。

町長 自然を活かした観光施策は、国立・国定公園や道立公園に囲まれた立地条件を活かし、資源の磨き上げはもちろん、近隣自治体や環境省等の国の機関、さらには民間との連携も視野に入れ、広域での事業推進や情報発信が必要と考えている。

議員 少子高齢化、人口減少をスローダウンさせるには、子育て支援が大切。8月末に認定子ども園に係る懇談会が開催されたが、どんな要望があり、どう応えていくとしたのか。

地域活性化と職員、住民の役割

きたい。

一般質問

畠山 出 議員

清里町の今後の防災対策について

公共施設等の防災対策

議員 胆振東部地震の際のブラックアウト、風雪による電柱倒壊や電線の切断による停電等、町内でも想定外の災害が発生しているが、現在の公共施設の発電機等の設備、防災備品の設置状況と今後の整備予定について伺いたい。

町長 平成28年度に保健センター、29年度に特別養護老人ホーム清里園に非常用発電機の整備または整備の支援、令和元年度に持ち運び型発電機22機整備、令和2年度には役場庁舎への非常用発電機の整備を行った。その他、非常食、紙おむつ、暖房機器、衛生用品などを備蓄している。今後も適切な維持管理、必要な更新整備を行う。

議員 発電機の試運転も含め、日常的な管理は行っているか。また、町内のガソリンスタンドと災害協定は結んでいるか。

定は結んでおらず、今後全体的な災害協定の確認・見直しをした上で、町内の事業所と連携できる体制の再構築を図りたい。

総合防災訓練

議員 8月27日に6年振りに総合防災訓練が行われたが、一般町民の参加者が少なく効果的な訓練とは感じなかった。今後の防災訓練の在り方をどのように考えているか。

町長 今回は体験・展示を軸に実施したが、今後は体験展示型のほか、関係機関の協力による頭上訓練や、季節等の様々な条件を想定した実践型訓練を取り入れていきたい。

消防団員の現状と課題

議員 地域防災の中核ともいえる消防団だが、団員の減少と高齢化がかなり進んでいる。この状況についての認識、対応等について伺いたい。

町長 団員の年齢層や団員加入の課題が非常に大きいと認識しており、消防団と連携しながら各事業所への協力呼びかけに努めていきたい。



消防庁舎の今後

議員 町政執行方針の中でも「防災と消防拠点機能の整備」が示されているが、消防庁舎の整備について、今後どのように

入、大規模災害団員、消防協力事業所表示制度等の活用により、消防団員の加入促進、地域の防災力の向上を図ってはどうか。



進めていくのか。

町長 「安全安心のまちづくり」のひとつの大きな柱として、消防庁舎や防災に取り組む必要性があるとの認識のもと、基本計画策定と建設候補地の選定を進めている。適地を示す中、まずは用地の確保について、基本計画の策定作業とともに取り急ぎ進めていきたい。整備にあたっては、国等の財源措置も受けるとともに、財政負担を考えると、明確な目的と適切な規模と機能を備えた施設として取り進めたいと考えている。

議員 消防庁舎の整備に当たっては、候補地周辺の住民、町民への説明、消防団との話し合い等の上進めてほしい。

町長 行政は、全ての事業について町民への説明責任を果たさなければならず、消防庁舎の取組みも説明責任を果たすとともに、意見を聴く場を作っていくきたい。